

平成 28 年度 狛江市市民活動支援センター第 4 回運営委員会 議事録

- 1 日 時 平成 29 年 2 月 8 日 (月) 午後 6 時 30 分～午後 8 時 10 分
- 2 場 所 市民活動支援センター フリースペース
- 3 出席者 委員長 三島瑞子
副委員長 上田英司
委 員 伊藤輝芳 伊藤聡子 内海貴美 荻野修 川久保享 高橋英史
田部井則人 松村正俊 松村雪子 (50 音順 敬称略)
事務局 小林万佐也 志田五十鈴 白石珠美 高橋善治 中里紀男 日比野浩
- 4 欠席者 委 員 大矢美枝子 崎山泰旦 西岡邦子 羽田野英博 高橋宗孝
- 5 傍聴者 3 名
- 6 提出資料 狛江市市民活動支援センター指定管理業務報告書
- 7 会議の結果

1. 開会

(事務局) お忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。インフルエンザも現在流行しておりますので、体調管理には十分ご注意ください。

2. あいさつ

(委員長) 平成 28 年度の運営委員会は今日で最後となりますが、事業等は 3 月にもありますので、よろしければご参加ください。少し早いですが、1 年間お疲れ様でした。

運営委員会としての活動が十分であったかどうかはつきりと言えませんが、任意はあと 1 年残っておりますので、引き続き皆さんと共に頑張っていきたいと思います。よろしくお願ひします。

それから、民生児童委員協議会からの委員が鈴木さんから荻野さんに交代されましたので、ご報告します。

3. 議題

(1) 狛江市市民活動支援センター運営委員会副委員長の選出について

(委員長) それでは審議に入りたいと思います。

初めに「狛江市市民活動支援センター運営委員会副委員長の選出について」事務局より説明をお願いします。

(事務局) 副委員長を 1 名から 2 名にするということで、前回の委員会でも議題として挙がっていましたが、運営委員会の要綱の改正が必要でしたので、12 月の社会福祉協議会の理事会と評

議員会に諮り承認されました。この改正に伴い、新たに副委員長を選出することができるようになりました。

(委員長) ただいま説明がありましたが、副委員長の選出は、「社会福祉法人社会福祉協議会 狛江市市民活動支援センター運営委員会の説地及び運営に関する要綱」の第5条で委員の互選により選出するとなっておりますので、自薦、他薦などありましたらお願いします。

(委員) 伊藤輝芳さんを推薦します。

(委員長) 他に自薦、他薦がなければ、ただいま推薦のあった伊藤さんをお願いしたいと思いますがよろしいでしょうか。

－出席者の拍手にて承認－

それでは、伊藤輝芳さんに副委員長をお願いしたいと思います。

(委員長) それでは報告事項に入ります。

(2) 報告事項

① 指定管理業務について

事務局より説明

－質問等、特になし－

② 各専門部会の状況について

・広報部会

広報誌「こまえがお」の創刊号は、3月15日発行予定で入稿が終了したところです。タブロイド判を市内の約20,000世帯に新聞折込みで配布及び情報誌「えくぼ」の設置店舗に置かせていただく予定です。

・情報部会

部会の会議が始まったところでこれからというところです。ホームページも少しずつ充実してきています。

・体験学習部会

これから活動が始まっていく予定です。

③ 相談に関する情報提供依頼について

センターで受けた相談の中で、運営委員の皆さんから情報提供をお願いすることがあるので、ご協力をお願いしたい。

③ 学校支援地域本部とのかかわりについて
事務局より説明

(委員長) 質問等あれば、お願いいたします。

(委員) こまえくぼが学校支援ボランティアの窓口を受けるのは決まったのでしょうか。本来は教育委員会がやる仕事だと思いますが、市が本来やるべき仕事をこれから全部こまえくぼに振られるのではないかと心配があります。今後も市の他の所管課からいろいろな窓口としての依頼が増えるのではないかと、それをやるだけの余裕があるか、それがこまえくぼにとってプラスになるかという点はどうか。

(委員) こまえくぼは、情報を集めてつなぐところなので、重荷になったりすることはないのではないかと、逆に窓口になることで出会いの場所を作ることになるのではないかと思います。

(委員) 行政が手いっぱいだからやって下さいということなのか、こまえくぼが必要だと思ってやることなのかを考えておいた方がいいと思います。

4. その他

(1) 運営委員の勉強会について

上田副委員長より説明

平成 28 年度の取組を振り返り、事業について理解を深めることを目的とした勉強会を 3 月 2 日に実施予定

〈趣旨〉

- (1) 狛江市市民活動センター運営委員が、市民活動センターの取組を深く理解すること
- (2) 運営委員会、およびスタッフが市民活動センターの機能や役割について理解を深める
- (3) 運営委員やスタッフの相互共有の場を設ける

〈内容〉

- (1) 狛江市政策室より 狛江市市民活動センター 設置経緯と期待すること
- (2) 東京ボランティア・市民活動センターより「市民活動センター あり方検討会」からの中間報告
- (3) 事務局からの振り返りシートを活用して、グループディスカッション

(委員) 運営委員会の要綱では、運営委員会は協議と検討と提言をすることになっています。運営委員会で協議、検討、提言をしていくために、センターがどんなことをして、どういう現状にあるのかが分からないと話し合いができません。どんな情報が必要になるのかということと、運営委

員会でどんなプロセスで行っていけばいいのかということ、皆さんで話して合意できれば、運営委員会としてのていげんをできるのではないのでしょうか。

事業報告は、決算が終わったら 30 日以内に報告しないといけないとされています。4 月末までの間に運営委員会が予定されているのでしょうか。運営委員会で検討する時間があるのでしょうか。

(事務局) 社協全体の報告を理事会と評議員会に諮りますが、社会福祉協議会全体の事業報告の中の一部としておこないますので、単独の審議事項として諮ることはありません。

(委員) 事前にどんな資料があれば検討できるのかということを考える場を設置して、運営委員会としての案として提言したらどうか、そういう小委員会のようなものがあるといいのではないかと、勉強会の中でもいい、私たちが提言できるための基になるものがあることを考えることができたらいいと思います。

(委員長) 良いご提案ありがとうございます。

(委員) 市に提出する実績報告は収支と事業の実績として出してもらうものなので、運営委員会の許可を得て期限に間に合わせないといけないわけではありません。事業の評価をする上で、今年度の報告を踏まえて、次年度の予算はどうしていくかということ、運営委員会で検討して反映させていくということだと思います。

(委員長) 3 月末で終了する事業をすぐに評価して、次の理事会に提出しないとけないものではないですが、今提案していただいたことは、この委員会の役割と考えるので勉強会を含めてどのようなかたちで実施できるかを検討していきたいとおもいます。このことについて、運営委員会として、取り上げるということによろしいでしょうか。

—拍手で承認—

(委員長) それでは、今後具体的に検討していくこととしたいと思います

(副委員長) まさに、次の勉強会ではこのような視点で評価しようということを深めて、次の委員会につながるようにしていきたいと思います。

(2) その他

事業のお知らせ

- ・第 8 回福祉講座 (2 月 16 日、23 日)
- ・わくわくサロン「退職後の地域デビュー! 50 代、60 代のあなたへ」(3 月 12 日)
- ・ボラ活川柳の募集

3月に小中学生を対象として、ボランティア活動に関連した川柳の募集をする予定
審査員を運営委員から2名お願いしたい。

- ・団体交流事業「夜、寄る？よるえくぼ」（2月24日）

情報提供：狛江市商工会 川久保事務局長

- ・ボランティアフォーラム（2月10日～2月12日）

次回の運営委員会の日程は、4月21日（金）18時30分からとなります。

本日の運営委員会は以上となります。